

令和7年3月21日

「土湯伝統こけし製作技術」が市指定無形民俗文化財に ～土湯伝統こけし製作技術継承の会へ指定書交付～

3月25日、福島市指定無形民俗文化財として「土湯伝統こけし製作技術」を指定いたします。

市長より、土湯伝統こけし製作技術継承の会（会長：阿部国敏）に指定書の交付を行います。

記

1 文化財の名称等：

指定日	令和7年3月25日
文化財の名称	土湯伝統こけし製作技術
文化財の種別	福島市指定無形民俗文化財
保護団体	土湯伝統こけし製作技術継承の会

- 2 指 定 理 由： 土湯という山間地域の生活のなかで、炭焼きの原料である木材を利用してこけしづくりを始めたとされ、この地域の特性が顕著に現れている。
土湯という山間地に生きた人々の生活文化であり、その歴史を知るうえで貴重である。

- 3 交 付 日 時： 令和7年3月25日(火)午後3時30分～4時

- 4 交 付 場 所： 市役所 4階 市長応接室

- 5 出 席 者： 市 長

土湯伝統こけし製作技術継承の会

顧 問 陳野原 幸紀 様

会 長 阿部 国敏 様

副会長 渡邊 隆 様

- 6 そ の 他： 本指定案件を含め、市の指定文化財は75件となります。

担当：文化振興課

課長 齋藤、郷土史料室長 星

文化振興課：電話 024-525-3785(直通)

土湯伝統こけし製作技術

○ろくろ絵付



紙やすりやトクサで磨き上げた後、ろくろの回転を使い、胴体にろくろ模様を描く。
左は「返し口ク口模様」。土湯伝統こけし独自の描彩の技法

○顔絵付



頭頂部「蛇の目模様」を描き、「かせ」といわれる髪飾り、クジラ目にたれ鼻、おちょぼ口を描く。

※左は絵付けが完成したもの

○完成



土湯伝統こけしの特徴

○次の形のものがある。

- ・エンタシス型 — 胴が比較的細く、中央部がかすかにふくらむもの
- ・太子型 — 台座の上がくびれていて胴が膨らんだ形をしているもの



○頭が小さい。

○首が回る。

○頭頂部に「蛇の目」という黒い輪、前髪の両側に「かせ」と呼ばれる赤い髪飾りが描かれている。

○目は「鯨目(くじらめ)」と呼ばれ、鼻は「垂れ鼻」で、口は「おちょぼ口」で総じて優しくかわいらしい表情である。

○胴はロクロ模様を主として描き、「返しロクロ」技法による描法は土湯伝統こけしの大きな特色である。